

2016/2017年競技規則の改訂について（要約）

これまでの歴史の中で最も広範囲な競技規則の改訂となりますが、その多くは解釈にあいまいさが出る文言を明確化し、より理にかなった文言に変更しているものです。

認識を変えなくてはならないものについて、特に3種に関わるものについては、以下の部分になると思います。文章をすべて記載した訳ではないので、詳細はJFAの資料にて確認してください。

1. 大きな影響があると思われる改訂

第8条「プレーの開始および再開」

8.3 キックオフ	
これまでの内容	新しい内容
ボールは、けられて前方に移動したときインプレーとなる。	ボールは、けられて明らかに動いたときにインプレーとなる。どの方向にでもけることができる。

第10条「試合結果の決定」

10.2.1 ペナルティーマークからのキック（KFPM）を行う際のゴールの選択	
これまでの内容	新しい内容
主審は、キックを行うゴールを選ぶ。	主審は、その他に考慮すべきことがない限り、コインをトスしてキックを行うゴールを決定する。

第11条「オフサイド」

11.5 フリーキックの位置	
これまでの内容	新しい内容
…オフサイドの反則を犯した競技者がいた場所から行われる間接フリーキックが与えられる。	ボールをプレーした場所や相手競技者を妨害した場所から行われる間接フリーキックが与えられる。

第12条「ファウルと不正行為」

12.11 ペナルティーエリア内における決定的な得点の機会の阻止（三重罰の解消）	
これまでの内容	新しい内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手チームの決定機を阻止した場合、反則が起きたところにかかわらず、退場（レッドカード） ○ ペナルティーエリア内においては、 <ul style="list-style-type: none"> ①退場（レッドカード） ②相手チームのPK ③出場停止 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペナルティーエリア内で、 <ul style="list-style-type: none"> ①ボールをプレーしようとした結果 ②ボールに向かう相手に挑んだ結果の反則 → ①②の場合、警告（イエローカード） ③ハンドリング、④手や腕の不正行為、 ⑤ボールをプレーしていない、可能性がない → ③④⑤の場合、退場（レッドカード） ○ ペナルティーエリア外では、退場（レッドカード）

2. その他、3種の試合で主に関係があると思われる改訂

第3章「競技者」

3.6 交代要員およびチーム役員による違反	
これまでの内容	新しい内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 交代要員・交代して退いた競技者が、勝手にフィールドに入った場合 → 主審が試合を停止 → ①間接フリーキック ○ チーム役員が、勝手にフィールドに入った場合 → 主審が試合を停止 → ②ドロップボール 	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム役員・交代要員・交代して競技者・退場した競技者がプレーを妨害した場合 → 主審が試合を停止 → ①直接フリーキック ②PK

第4条「競技者の用具」

4.6 用具を交換した／正した後の競技者の復帰	
これまでの内容	新しい内容
競技者は、ボールがアウトオブプレーのときのみフィールドへの復帰が認められる。	競技者は、ボールがインプレー中であっても、主審の承認を受けた後、フィールドへ復帰できる。

第5条「主審」

5.6 イエローカードやレッドカードの対象となる反則があった後、競技者はフィールド上で素早く負傷の程度（新しい内容）	
警告や退場になる身体的反則によって負傷した競技者は、素早く完了できるとき、フィールド上で治療を受けられる。	

第10条「試合結果の決定」

10.2.4 同数の競技者（ペナルティーマークからのキック（KFPM）時）	
これまでの内容	新しい内容
試合終了時に相手より人数が多いチームは、人数が等しくなるように競技者を減らさなければならない。 PK時に一方のチームが1人少なくなった場合でも、もう一方のチームの人数は減らさない。	試合が終了した時、またはPK進行中に、相手より人数が多いチームは、人数が等しくなるように競技者を減らさなければならない。

第12条「ファウルと不正行為」

12.15 交代要員、チーム役員、審判員などに対するファウル	
これまでの内容	新しい内容
ボールがインプレー中で、フィールド内で反則を犯した場合 ○相手競技者への反則 → 直接FK, PK ○味方競技者への反則 → 間接FK ○交代要員または交代して退いた競技者への反則 → 間接FK ○審判員への反則 → 間接FK ○その他の者に対する反則 → ドロップボール	ボールがインプレー中で、フィールド内で反則を犯した場合 ○相手競技者への反則 → 間接・直接FK, PK ○味方、交代要員、交代して退いた競技者、チーム役員、審判員への反則 → 直接FK, PK ○その他の者に対する反則 → ドロップボール

12.16 フィールド外におけるファウル	
これまでの内容	新しい内容
ボールがインプレー中で、フィールドの外で反則が起きた場合 → 間接フリーキック	ボールがインプレー中で、フィールドの外で反則が起きた場合で、プレーの一環としてフィールドを離れ、反則を犯したとき → 直接フリーキック, PK

第13条「フリーキック」 第14条「ペナルティーキック」 第16条「ゴールキック」

ボールは静止した状態にし、インプレーにするためにボールを明らかに動かさなければならない	
これまでの内容	新しい内容
○ ボールは静止していなければならない。 ○ ボールは、けられて移動したときインプレーとなる。	○ ボールは静止していなければならない。 ○ ボールは、けられて明らかに動いたときインプレーとなる。

第17条「コーナーキック」

17.2 ボールは静止した状態にし、インプレーにするためにボールを明らかに動かさなければならない	
新しい内容	
○コーナーアーク → コーナーエリア（名称変更） ○ボールは静止していなければならない。 ○ボールは、けられて明らかに動いたときインプレーとなる。 （ボールに少し触れることで、あたかもキックが行われていないように見せかけるプレー、をやらせない。）	

詳細は、（通 達）http://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_160519.pdf

（新旧対照表）<http://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/comparisontable.pdf>

JFAに解説映像があります（12分程度）http://www.jfa.jp/jfa_tv/news/00009868/